

各議題のトピックスを簡単にまとめました。

議題2: 名古屋工業会会長に、牛込進岐岐阜工業会会長(株)TYK会長)が就任され、当会の副会長に就任されました。また、内川晋関東自動車工業会会長が大学理事、テクノパーソンセンター長に就任され、当会理事にも就任いただきました。

議題3: 事務局所属コネクターを3→2名体制とすると共に、事務局人件費の削減を目指す。

議題5,6: 新規事業として、会員限定の産学官連携サロンを、4半期に一度開催する。若手研究者による「講演+同教員の研究室見学+交流会」構成の、参加者10人程度のミニ集会形式で教員との十分な意見交換をはかっていきたい。



ベンチャーフォーラム

今回は例年と趣向を変えて、2名の名古屋工業大学名誉教授に、「今、実践する産学連携」とのテーマで講演頂き、約80名の役員、会員が熱心に聴講した。講演テーマは、

1:「超音波で何がどこまで観えるか」(有)超音波材料診断研究所社長 川嶋紘一郎氏

2:「敵を味方につける地盤の補強法 -性能表示された土のう(本設土のう)の活用-」 土のう工法研究会代表 松岡元氏



特別講演会

講演テーマ
「家庭用燃料電池コージェネレーション未来づくり ~省エネ、環境対策を家庭から~」
片岡明博氏(東邦ガス株) エネルギー技術開発部総括)

燃料電池の原理、種類と特徴、利用分野、家庭用燃料電池システム、実用化・普及シナリオ、開発目標、開発課題等を、筋道を立てて分かりやすく説明された。会員、役員、学生、教官等、約140名が聴講し、質問も多数あり盛会だった。



懇親会

特別講演会終了後、役員、会員、教官の親睦を深めるための懇親会には会員58名、特別会員7名、役員14名、教官24名の計100名強が参加され盛会だった。

副会長に就任された(株)TYKの牛込会長の挨拶・乾杯のあと懇親が始まり、研究成果紹介のためのパネルやサンプルの前で、活発な議論や交流が見られた。



第5,6回知財活用公開フォーラムを開催

本フォーラムは二部構成で、第一部;メインテーマを設定し、変化の激しいビジネス環境の中で先進的な研究開発や効果的な産学官連携を推進している企業などの幹部や有識者を招いての講演、第二部;大学の基礎研究を企業との共同研究などに結びつけるための大学発シーズ研究の発表(毎回3名の若手・中堅教員)というスタイルです。参加者は毎回80~180名程度で大盛況です。フォーラム終了後は、講演者も参加した懇親会を開催し、参加者同士の交流を深めています。今年度はフォーラムを4回開催する予定です。未参加会員の方々の聴講をお待ちしています。では、実施済みフォーラム概要を簡単に紹介します。



■第5回 平成18年5月11日(木)13:30-17:30 17:45-19:15(交流会)

- ・「デンソーにおけるモノづくりと人づくり」(株)デンソー 常務役員 土屋総二郎氏
概要~生産のグローバル化が進展する中、競争力ある生産技術を生み出していくための取組みとその推進の原動力となる人づくりについて。
- ・「光技術のグローバル化」浜松ホトニクス(株) 常務取締役 晝馬日出男氏
概要~光の「波」と「粒」の性質、光を「より暗いところ」、「より早い現象」、「より微小な観測」、「より詳細な分光」と捕らえる基礎技術と事業展開の考え方について。
- ・名古屋工業大学研究シーズ紹介

①「メカトロニクスにおける適応・学習機能」	つくり領域	水野直樹教授
②「多工程持ち生産ラインの数理解析」	ながれ領域	中出康一教授
③「日本人にふさわしい管理手法とは?~従業員管理の文化心理学~」	ながれ領域	鷲見克典助教授

■第6回 平成18年7月25日(火)13:30-17:30 17:45-19:15(交流会)

- ・「持続可能社会のためのイノベーション」元、日本電気株環境技術研究所長 岸田俊二氏
概要~CO2排出1/4を目標に画期的な省エネと太陽光利用の革新の連鎖を実現すれば、持続可能社会への道が拓く。
- ・「燃料電池・水素ステーションに関する出光興産の取組」出光興産(株)新規事業推進室 室長付 遠藤元治氏
概要~石油精製業では大量の水素を製造利用する。その技術的蓄積やインフラ特長を生かした石油系燃料電池および水素ステーション実証への取組を紹介。
- ・名古屋工業大学研究シーズ紹介

①「環境における電磁的両立性(EMC: electro-magnetic compatibility)のための電磁界センサー開発」	つくり領域	安達信泰助教授
②「金属精錬用水素センサーの開発」	おもひ領域	栗田典明助教授
③「薄膜ディスプレイのための高分子発光材料の開発」	ながれ領域	高木幸治助教授

第7回サテライトセミナーを開催

■平成18年5月16日(火)14:00~17:05 17:10~18:00(交流会)

岡崎ものづくり推進協議会、岡崎商工会議所とのタイアップの下、岡崎商工会議所にて第7回のサテライトセミナーを開催した。地元経済産業界の協力の下、参加者は104名という盛況で、地元企業の関心の高さが浮き彫りになった。

本学内川理事および岡崎商工会議所伊藤会頭による開会挨拶、本学の産学官連携の取り組みと研究協力会活動の紹介のあと、2会場に分かれ、以下のシーズ発表が行われた。

- | | | |
|-----------------------------|------------|----------|
| A-1「ねじ締結部の品質保証とトラブル対策の要点」 | 機械工学科 | 萩原正弥 助教授 |
| A-2「金属の粘土細工と潤滑技術」 | 機械工学科 | 北村憲彦 助教授 |
| A-3「Al基複合材料の合成と物理化学的特性」 | 環境材料工学科 | 橋本 忍 助教授 |
| B-1「スポーツと健康に対する分岐鎖アミノ酸の有用性」 | 生命・物質工学科 | 下村吉治 教授 |
| B-2「木造住宅の巨大地震対策」 | 建築・デザイン工学科 | 井戸田秀樹 教授 |
| B-3「地盤工学最先端」 | 都市社会工学科 | 中井照夫 教授 |

コヒブレイクおよびセミナー後の懇親会では、講演者と参加者の活発な交流が見られた。